

道東最古の寺院『国泰寺』住職の60年間の記録

日鑑記(上・下巻)ついに完結

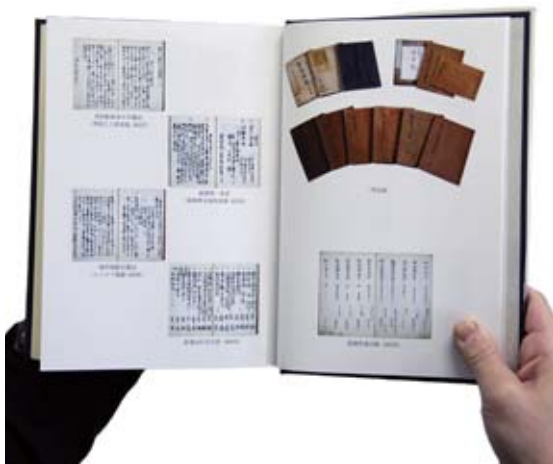
このたび『新厚岸町史』資料編2『日鑑記下』を発行しました。

この資料編は、平成15年に発行した資料編1の『日鑑記上』に続くものであり、このほか、平成19年には資料編3として『自然・統計編』を発行しています。

国泰寺は、文化元年(1804年)徳川幕府が東蝦夷地の安定化のために、有珠の善光寺、様似の等潮院とともに、いわゆる『蝦夷三官寺』の一つとして設置されました。国泰寺住職の受持場所は、十勝から択捉までの広範囲な持ち場を巡回しました。

資料編の『日鑑記』は、国泰寺の歴代住職がつづった日誌・記録を原文のまま活字化したもので、東蝦夷地の歴史を明らかにするための重要な史料であり、『蝦夷三官寺国泰寺関係資料』として国の重要文化財にも指定されています。

国泰寺の日鑑記は、文化元年(1804年)から文久3年(1863年)まで歴代住職などが記したもので、毎日の天候、寺内の仏事や年中行事、場所の経営、詰合役人の動向、天変地異や異国船の来航など、当時の様子を知ることができます。



資料編1では、国泰寺が所蔵する文書のうち、初代住職文翁から5代文道までの日記を収録し、資料編2では、これに続く6代香国から9代晦厳までの日記と、関連諸記録や往復文書を収録しました。

さらに国泰寺の住職は、鎌倉五山(建長寺・円覚寺・寿福寺・浄智寺・浄妙寺)から交代で派遣されていたため、歴代住職を選出した鎌倉五山やその末寺にも関係資料が残されており、各寺院が所蔵する史料の中から代表的な『国泰寺関係史料』を収録しています。

厚岸町の歴史の一端を振り返るものとして、是非、一読ください。

購入案内

発行された町史は、情報館や役場情報公開コーナーで読むことができますが、希望する人は、次の方法(代金引換)で購入できます。

町民販売価格 6,500円(税込み)

※一人一冊のみ、この価格で購入できます。

一般販売価格 10,000円(税込み)

●販売窓口／まちづくり推進課統計調査係

●購入方法／

①窓口で購入する場合

窓口にて用意してある『購入申込書』に記入し、現金をお支払いください。

窓口以外では、以下の方法でも購入できますので、詳しくはお問い合わせください。

②郵送(現金、小為替)で購入する

③代金振込で購入する

※②、③の場合、送料等は購入者の負担となります。

●問い合わせ／まちづくり推進課統計調査係

☎52-3131内線244・245